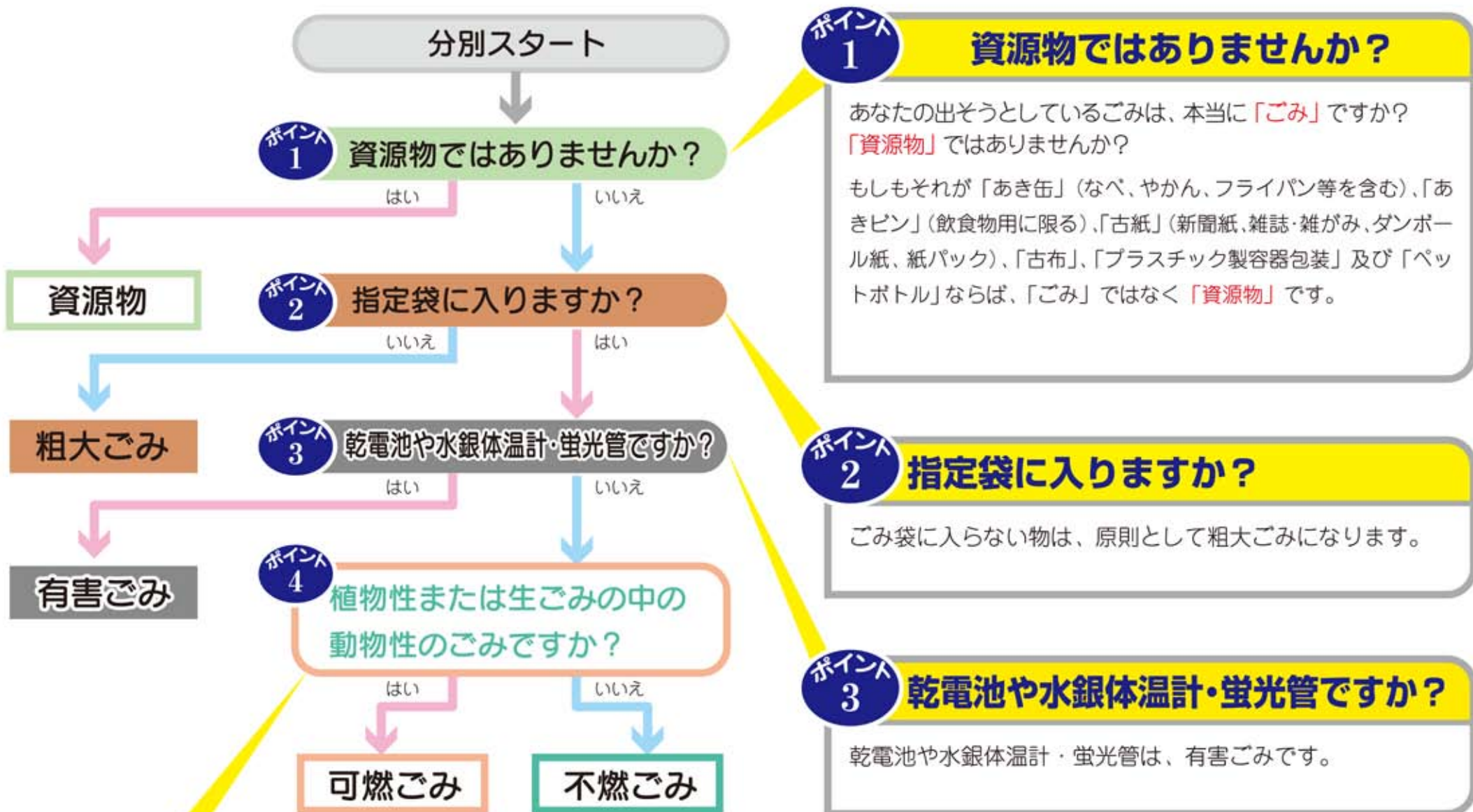


分別のポイント



ポイント
4

植物性または、生ごみの中の動物性のごみですか？

残ったごみは、可燃ごみと不燃ごみです。これらは材質によって分けます。植物性または、生ごみの中の動物性のごみは可燃ごみ（それ以外でも、一部衛生上燃やした方が良いごみ等を含みます）、それ以外の資源物にならないプラスチックやガラス・皮革・ゴム・金属等でできているごみは、不燃ごみとなります。

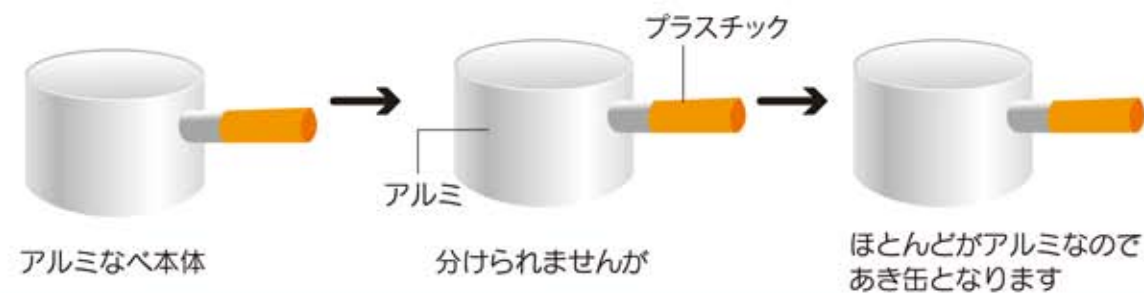


応用編 いくつかの材質でできているもの

分けられるだけ分けてください



分けられないものは最も多くを占める材質で判断します



ワンポイント

なぜ分別しなければならないの？

環境センターでは、みなさんの家庭から出された様々なごみを「リサイクルする」「燃やす（溶かす）」「砕く」という三つの方法を使い、埋め立てる量の削減に努めています。

ところが、分別が不十分なおみが行くと機械が故障したり、作業効率が低下したりしてしまいます。

特に、リサイクルをするためには、同じ素材の物をよりきれいな状態で集めることが重要で

す。もしも、汚れた物が出されてしまったら、汚れた物がリサイクルできないだけでなく、せっかくきちんと出してもらった物にまで混ざったり、汚れが移ってしまい、リサイクルができなくなってしまうからです。

